

先端テクノロジー・データ利活用ユースケース創出支援事業
事例報告書

生成AIを活用した
コミュニティ運営・情報発信支援ツール
の開発と実証

株式会社Asian Bridge

要約

タイトル	生成AIを活用したコミュニティ運営・情報発信支援ツールの開発と実証
会社名	株式会社Asian Bridge

1. 想定ユーザーの抱える課題及び解決方法

【想定ユーザーの課題】

①コミュニティ運営者

顧客属性に応じた対応やマッチングが属人化しており、スタッフ育成の再現性が低い。また、得られた情報や人脈の効果的な内部共有や、必要な相手への適切な個別発信が困難である。

②所属企業（スタートアップ・中小）

採用や集客に向けた広報活動の負担が大きく、発信力の強化に課題がある。また、身近な事例不足によりAI活用のハードルも高い。

【解決方法】

生成AIを組み込んだ新規システムを構築し、「コミュニティ運用支援」と「情報発信支援」の2軸でアプローチする。運営面では、データ分析とAIにより属人化を解消し、効果的なマッチングや個別情報提供を実現する。所属企業向けには、各社の事業内容を捉えた広報投稿の作成をAIで効率化し、発信力を高める。これにより、運営の内部課題と企業の外部発信課題を同時に解決し、コミュニティ活動を活性化させる。

2. 実証実験等の実施内容

LLMを活用したWEBシステムを新規開発し、以下のテーマで検証と改善を行った。

【運営者向け：支援の標準化と質向上】

①**サマリー作成精度（定性）**：顧客属性や会話メモからAIが要約やチャットを生成。企業情報をマークダウン記法で拡充し、プロンプトを改良して推論精度を向上させた。

②**回答のリードタイム（定量）**：相談発生からAIで回答を得るまでの時間を計測し、経験の浅いスタッフの業務効率化を検証した。

③**提案内容の質（定性）**：会話ログから支援ヒントを自動生成し有用性を評価。画面導線やテキスト等のUI/UX改善も実施し、属人化を防ぐ仕組みを検証した。

【所属企業向け：AIを活用した発信力強化】

④**SNS発信のリードタイム（定量）**：GPTによる求人やSNS投稿の自動生成機能を構築。アカウントを紐づけたテスト投稿で作成時間を計測し、実用化に向けた課題を洗い出した。

3. 実証実験等の結果

①**サマリー作成精度（定性）**：UI等の改善で「参考にならない」等の低評価が激減し実用段階へ向上。協業や資金調達の提案など全1290件中287件で有益な支援ヒントが生成され、新人スタッフの研修・情報把握にも有用という評価だった。

②**回答のリードタイム（定量）**：インターン生の実測で相談から回答生成までの時間が約5分短縮されることを確認。経験の浅いスタッフの対応効率を大きく底上げできることが実証された。

③**提案内容の質（定性）**：AIの提案を機に、インターン採用やペルソナ議論などリアルな支援対話へ繋がった事例が約10件発生。一方で、企業の現在のフェーズ（開発段階か等）に合わない時期尚早な提案が一部残る課題も確認された。

④**SNS発信のリードタイム（定量）**：イベント告知等を主催・参加者目線で生成。整理から微調整まで約6分（生成15秒）で完了し「ゼロから考えるより楽」と高評価だった。ただし意図通りの出力には目的や事業内容等の背景情報を入力する工夫が必要である。

4. 今後の方針・展開

①**システムの実用性と精度の向上（方針）**
支援提案の的確さを高めるため、Slack等のツールからのデータ定期取得や、日常の「生の声」を記録する機能を追加し、RAG技術を強化することを検討。また、SNS投稿機能では、過去の履歴から投稿者のニュアンスを学習・再現する仕組みや、投稿のトーンや裏話などを指定できる入力フォームを実装し、属人化を防ぎつつ高品質な生成ができるようUI/UXを改善が効果的だと考える。

②広域ビジネス創出AIプラットフォームへの進化（展開）

本システムを他コミュニティスペースへも展開し、複数拠点を繋ぐ機能拡張を図ることを想定。さらに行政向け画面を新設し、官民データを統合するプラットフォームを目指す。これにより、入居企業は他拠点との協業や最適な行政案件の通知を得られ、施設側は商談を生むインフラとして価値が向上する見込みである。行政も企業ニーズのリアルタイム分析が可能になり、地域全体のビジネス活性化と課題解決に貢献を目指す。

想定ユーザーの抱える課題及び解決方法

■想定ユーザー

①東北最大のコミュニティスペース『エンスペース』のコミュニティマネージャー及びコミュニティスタッフ

定義：起業・創業支援を伴うコミュニティスペースにおいて、企業同士のマッチングや紹介を通して企業の課題解決を行うコミュニティマネージャー、コミュニティスタッフ

②エンスペースに所属または一定の関わりを持つ仙台のスタートアップ企業及び、中小企業 採用担当者や広報担当者

■想定ユーザーの抱える課題

①エンスペースのコミュニティマネージャー及びコミュニティスタッフ

・コミュニティ内の顧客属性により、コミュニティ活性化の方法や企業同士のマッチング方法の最適解が異なるため、コミュニティマネージャーやコミュニティスタッフの育成の再現性担保が難しい。

・顧客とのコミュニケーションを通して得る情報や人脈が属人的であり、効果的な内部展開や情報活用が難しい。

例) 補助金、助成金の情報などが入ってはくるものの、コミュニティ内での一方的な発信となり、必要な方へ個別リーチ率が低いなど。

②エンスペースに所属または一定の関わりを持つ仙台のスタートアップ企業及び、中小企業

・採用や、集客を目的とした発信力の強化。

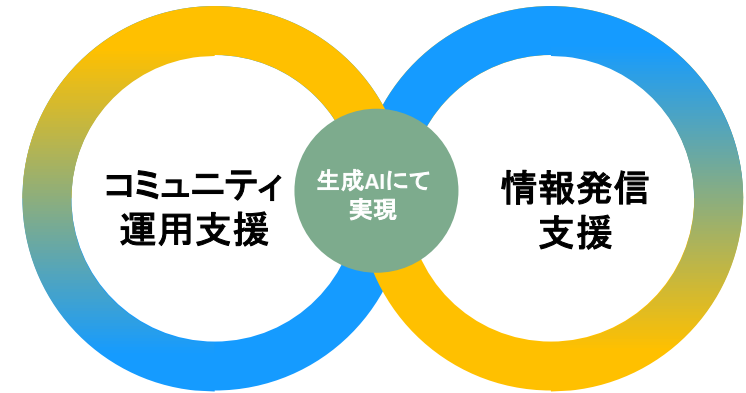
・AI活用を推進したいが、身近に活用事例が少ないことや情報不足による活用のハードルが存在する。

想定ユーザーの抱える課題及び解決方法

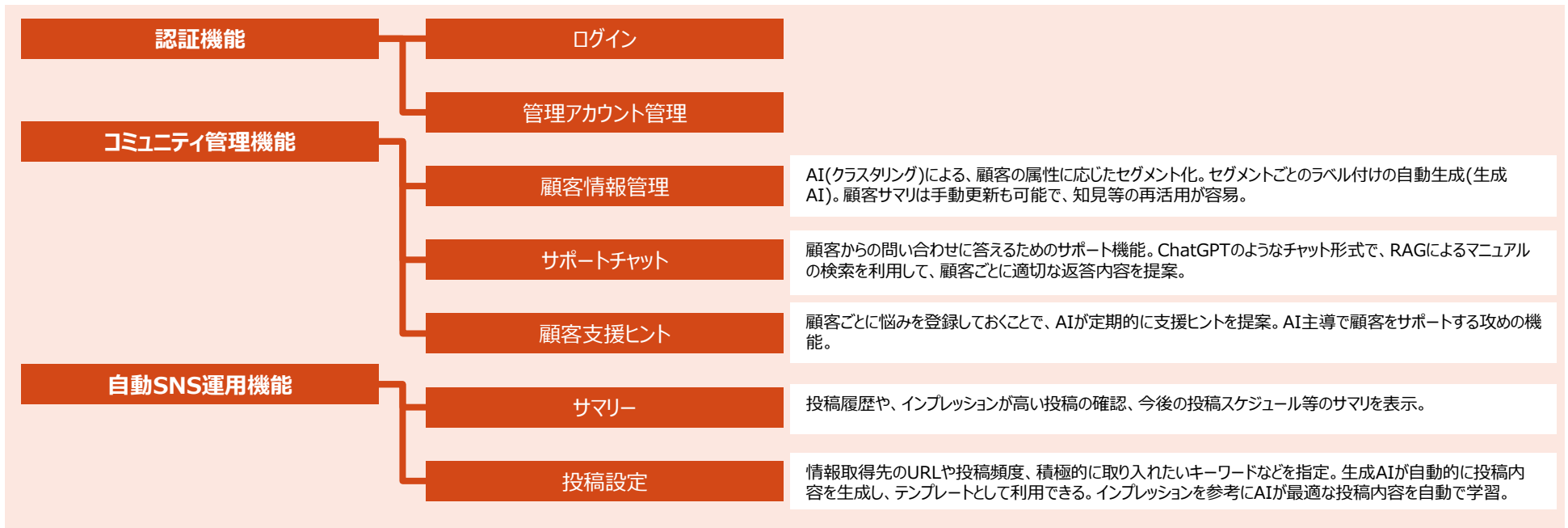
■解決方法

生成AIを組み込んだシステムを新規構築し、コミュニティ運営の内部的課題と、利用者の外部発信の課題の双方を解決して活動を活発化させる。

また、当実証を行うことで、宮城県内の他コミュニティ運営・企業にもシステム全体もしくは機能の一部を展開し、地域全体でコミュニティ活動が活発な風土づくりを目指す。



■機能・画面構成図



実証実験等の実施内容(実証1)

以下実証を計画し、エンスペース様にシステムをご協力・ご利用いただきました。

(1) 【定性】生成AIが会話の情報から適切にサマリーを作成できているか計測

→サマリーの生成で情報に過不足があると、サポート内容全体に影響するため検証。

内容：企業情報を更新したタイミングで、変更内容から適切な内容を取得して反映されているか。余計な情報・取得がうまくできていない部分などが無いかを評価する。

(2) 【定量】相談いただいてから回答するまでのリードタイムの計測

内容：

- ・相談があったものに対して、人が相談に乗った場合の回答生成にかかった時間を記録する。
- ・その後、生成AIに相談して使用に足る回答を得られるまでの時間を記録する。（出力が何度も発生する場合はトータルの時間）
→この2つの回答を比較・分析する。

(3) 【定性】提案内容の質の計測

内容：

- ・相談があったものに対して、生成AIからの提案で有用であったものの件数を記録・評価する。

(4) 【定量】SNS発信完了するまでのリードタイムの計測

内容：

- ・入居企業に関わるSNS発信が発生した際、人が作成した場合のかかった時間を記録する。
- ・その後、生成AIに作成させ、手直し等を含めて作成完了するまでの時間を記録する。（出力が何度も発生する場合はトータルの時間）

実証実験等の結果(実証1)

構築したシステム：サポートチャット

コミュニティ 運用支援システム

顧客管理 SNS運用支援 管理アカウント管理

管理者ID : enspace

戻る

チャット一覧

少額決済・地域デジタル化推進...

新規追加

46BN0M4 サポートチャット

enspace 20:14
具体的なペルソナを設定のアイデアがほしい

Support Chat AI 20:14
46BN0M4様、いつもお世話になっております。
販路拡大のための具体的なペルソナ設定についてですね。大変重要なステップであり、貴社の少額決済サービスを本当に必要としている方々に届けるための第一歩となります。コミュニティとして、そのアイデア出しを全力でサポートさせていただきます。
貴社の「中小事業者や個人でも利用しやすい仕組みを整備」「地域経済のデジタル化に貢献する」という素晴らしいミッションを踏まえ、以下のようなペルソナ設定のアイデアをご提案します。

具体的なペルソナ設定のアイデア

ペルソナは、単なる属性だけでなく、その人の抱える課題、求めるもの、行動パターンまで具体的に想像することがポイントです。

1. 中小事業者向けペルソナ例：『地域密着型カフェのオーナー「山田さん」』

- 背景：個人経営のカフェを営む40代のオーナー。常連客が多く、地域に根ざした経営をしている。
- 現状の課題：
 - キャッシュレス決済を導入したいが、初期費用や月額固定費が高いと感じている。
 - レジ締めや売上管理が現金だと手間がかかる。
 - 若い層の顧客獲得や、インバウンド対応も視野に入りたい。
 - 複雑なシステムは苦手で、導入後のサポートも不安。
- 求めるもの：
 - 導入コストや手数料が安く、手軽に始められるキャッシュレス決済。
 - 操作が簡単で、売上データも自動で集計・管理できる機能。

コメント

送信

実証実験等の結果(実証1)

構築したシステム：セグメント表示

生成AIの思考が複数次元のベクトルで行われており、2次元で図示してサポートチャットの傾向を表示)



実証実験等の結果(実証1)

構築したシステム：支援ヒント

コミュニティ 運用支援システム				顧客管理	SNS運用支援	管理アカウント管理	管理者ID : enspace
戻る							
1YRHSJ6支援ヒント							
ヒント	作成日時	操作					
デジタル広告とコンテンツ運用の効果最大化に向け、企業2OTT2T6（AIソリューション）との連携を検討しましょう。同社のAIプラットフォーム「AIZE」を活用すれば、顔認証や属性推定による顧客行動の詳細分析を通じて、よりパーソナライズされた戦略設計と効果測定が可能となり、認知拡大と売上向上を強力に後押しできます。	2025-10-20 20:37	解決済み					
<ul style="list-style-type: none">AI技術導入によるマーケティング施策の高度化 データ活用を強みとする貴社は、AI技術・解析ツールを提供する3F60HDZと連携することで、より精緻な顧客行動予測やパーソナライズされた広告配信、自動最適化を実現し、マーケティング効果の最大化を図れます。アジャイル開発手法の導入によるマーケティングPDCAの高速化 効果測定と柔軟な戦略設計を重視する貴社は、アジャイル型開発に強みを持つ1Y0KZ1Jと連携することで、マーケティング施策の企画から改善までのサイクルを迅速化し、市場変化への対応力を高めることができます。デジタルソリューション企業との連携による事業領域の拡大 地域企業の業務デジタル化を支援する2QQFCC2と連携することで、貴社のマーケティング支援サービスを補完し、新たな顧客層へのアプローチや、より包括的なデジタルソリューション提供の機会を創出できます。	2025-10-20 21:08	解決済み					
支援ヒント： <ul style="list-style-type: none">データ活用をさらに高度化するため、AI技術を用いた予測分析やパーソナライズされた広告配信の最適化を検討しましょう。<ul style="list-style-type: none">マッチング候補：3F60HDZ自治体の広報活動におけるデジタルシフトを支援し、新たな市場開拓を行うことで事業領域の拡大を図りましょう。<ul style="list-style-type: none">マッチング候補：IS7QVYデジタル広告と連携したオフラインのクリエイティブ制作やイベント企画など、統合的なマーケティング支援を強化し、顧客への提供価値を高めましょう。<ul style="list-style-type: none">マッチング候補：1C2WSN1顧客企業の業務デジタル化やデジタル人材育成のニーズにも対応できるよう、専門企業との連携を通じて包括的な支援体制を構築しましょう。<ul style="list-style-type: none">マッチング候補：2QQFCC2	2025-10-20 22:02	解決済み					
貴社のデータ活用と効果測定の強みをさらに強化するため、AI技術・解析ツールの専門企業3F60HDZとの連携で、より高度なデータ解析や予測モデルの導入を検討してはいかがでしょうか。デジタル広告やコンテンツ運用の効果最大化に向け、アジャイル開発やユーザー体験（UX）改善のノウハウを持つIT・ソフトウェア企業1Y0KZ1Jとの協業で、サービス開発と改善サイクルを加速させることを推奨します。マーケティング活動の高度化を目指し、顔認証や属性推定AIプラットフォームを提供するAIソリューション企業2OTT2T6との連携や、そのAI人材育成スクールを活用した専門性向上を検討してはいかがでしょうか。	2025-10-22 09:27	解決済み					
支援ヒント： デジタル広告とコンテンツ運用の効果測定をさらに高度化するため、AIを活用したデータ分析や予測モデルの導入を検討し、パーソナライズされた戦略設計を強化しましょう。 マッチング企業： AIプラットフォーム「AIZE」で顔認証・属性推定・表情推定などを提供する2OTT2T6は、貴社のマーケティング活動におけるデータ活用と効果測定の精度向上に貢献できる可能性があります。	2025-10-22 09:55	解決済み					

実証実験等の結果(実証1)

構築したシステム：SNS投稿

コミュニティ 運用支援システム

顧客管理 SNS運用支援 管理アカウント管理

管理者ID : enspace

生成された投稿

【enspaceが会場 & 発表！】仙台市の先端テクノロジー成果発表会にご参加ください！

🌟 仙台市が推進する未来志向のプロジェクト成果を、enspaceで体感しませんか？ 🌟

この度、当社enspaceが会場となる「令和7年度 先端テクノロジー・データ活用ユースケース創出支援事業」の成果発表会が開催されます！
地域における先端テクノロジーを活用した新たなビジネス創出と地域経済の成長を目的とした本事業。その集大成となる発表会に、皆様をご招待いたします！

💡 **注目ポイント！**
特に、当社enspaceは株式会社Asian Bridge様と共同で「**生成AIを活用したコミュニティ運営・情報発信支援ツールの開発と実証**」に取り組みました。
enspaceのコミュニティスペースにおける入居企業様へのAI活用支援の成果を、実際にプロジェクトメンバーである私たちの目線からご紹介させていただきます！ぜひ、AIがコミュニティ運営にもたらす可能性をご覧ください。

🚩 **発表企業とテーマ**

- * 株式会社Asian Bridge (AI×サービス)
- * **enspace (共同実証：生成AIを活用したコミュニティ運営・情報発信支援) **
- * 匠ソリューションズ株式会社 (AI×農業分野)
- * 株式会社SRA東北 (ブロックチェーン×医療、福祉)
- * 株式会社shared (AI×教育、学習支援業)

📩 **こんな方におすすめ！**

- * AIやブロックチェーンなどの最新技術の開発・活用に興味がある企業様
- * 次年度の本事業への応募を検討されている企業様
- * DX推進を加速させたい企業様

ぜひこの機会に、先端テクノロジーの最前線に触れてみませんか？皆様のご参加を心よりお待ちしております！

****【開催概要】****

- * **イベント名： 令和7年度 先端テクノロジー・データ活用ユースケース創出支援事業 成果発表会
- * **開催日時： 令和8年3月12日(木) 14:00~16:30
- * **開催場所： enspace 2階イベントスペース (〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-4-9 enspace)
- * **主催： 仙台市

****【お申込み方法】****

添付画像のQRコード、または下記URLよりお申し込みください。
🔗 https://logoform.jp/form/3PrJ/1453177

#enspace #仙台市 #先端テクノロジー #AI #ブロックチェーン #DX #成果発表会 #地域活性化 #7カテゴリー #実証実験 #コミュニティ運営 #情報発信 #イベント告知

キャンセル 投稿

実証実験等の結果(実証1)

(1) 【定性】生成AIが会話の情報から適切にサマリーを作成できているか計測

生成AIが適切にサマリーを形成。チャットボットや支援ヒントでの生成内容についても、他の入居者とのマッチングを提案できることを確認しました。但し、生成される情報については、吐き出される情報に対して5段階評価のうち「レベル3：参考になる」という評価が最大値情報が間違っていない状態の一方で、知っている情報も多いことを踏まえてレベル3の評価。

→新人の研修情報キャッチアップの観点であれば有用程度。

(2) 【定量】相談いただいてから回答するまでのリードタイムの計測

(3) 【定性】提案内容の質の計測

⇒上記評価の状況なので、適切に計測できず。

(4) 【定量】SNS発信完了するまでのリードタイムの計測

SNS発信の機会を提案する支援ヒントへの機能追加

■方向性の検討

評価の5を目指すのか、研修用等に特化させていくのかも検討。

⇒長く使っていけるような声を取り入れたものにしていきたい。長く使い続け、信頼を勝ち取り、外（他コミュニティスペース等）との接続もしていきたいため、4、5を目指していく流れ。

■生成内容の評価を上げるために、以下対応を検討。

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1.情報自体は間違っていないものの、運営側だけが知っている情報も多い | ⇒課題① AIの回答精度への満足感を高める |
| 2.新人研修などのキャッチアップの観点であればよい状態である | ⇒課題② システムとしての利便性を向上させる |
| 3.SNS運用支援機能の実証が実施できていない | ⇒課題③ SNS運用支援の実用化に向けた課題の発見 |

実証実験等の実施内容(実証2)

課題① AIの回答精度への満足感の向上

【原因(仮説)】

システムに登録されている顧客詳細情報が少ないため、AIの推論精度が向上しづらい



1. コンテンツの拡充

各企業のホームページなどを参考に内容を追記し、事業内容部分を充実させる。

2. サマリーの精度向上

AIによる各企業のサマリー内容が充実するようにシステムプロンプトを工夫。

顧客詳細	
顧客名	担当者
INTQD54	15ZBWR9
従業員数	業種
0	医療・IT
設立年	
2025	
事業内容	
医療・介護分野の現場課題に寄り添い、看護職の定数支援や働き方改善を推進。採用から教育、シフト設計までを体系化し、人材不足の解消と現場の質向上を両立させる。現場起点での課題解決を通じて、安心して働ける環境を構築する。	
サマリー	

1

2

実証実験等の実施内容(実証2)

課題① AIの回答精度への満足感の向上(データ入力の具体例)

企業の基本情報

- 業種：情報通信業
- 事業拠点
- 東京本社、金沢LAB、富山LAB
- 出張所：宮城/静岡/福岡/大分

目指すもの

- デジタルの力と戦略的な連携でビジネスを次のステージへと導く
- ビジネスと個人の境界を越えた多様な課題を解決
- 個人と企業が新たなビジネスチャンスを生み出せる環境を提供
- 人と人が助け合い、地域を活性化する社会の実現(地域の復興支援)

取り組み

- 地域課題解決を実践
- コミュニティ創出 (Sports Bank/LocalBank) :地域特化型SNSを活用し、人と人の関係性をコミュニティとして構築。
- 人材育成・研修 (AKATSUKIプロジェクト) ※2024年
- 地域企業の採用強化およびミスマッチを防ぐため、高校生から社会人を対象にインターンを活用した人材マッチング(CareeTern)
- 研修・育成を通じて若手や女性などが能力を最大限発揮できる環境を整備、地域に必要な人材を創出

事業内容

- Webシステム開発・運用支援事業
- 目的：お客様のビジネスニーズに応じた高品質なデジタルソリューションを提供
- サービス内容
- 仕様検討から開発、リリースまでのトータルサポート
- カスタムソフトウェア開発：パッケージ〜フルスクラッチ、CMS追加、ECサイト決済組込など。
- 特徴
- クラウド環境の構築と運用をサポートし、スケーラブルで信頼性の高いインフラを提供
- UI/UXデザインにより使いやすくブランド性の高い画面を制作

...

事業内容を「目指すもの」「取り組み」「事業内容」「他企業に求めること」など細かく記載。
また、マークダウン記法で情報を与えることで生成AIが解釈しやすい形式でデータを注入。

実証実験等の実施内容(実証2)

課題②-1 システムとしての利便性の向上

【原因】

運営者に対して、システムとして不親切な表現やUIとなっている。



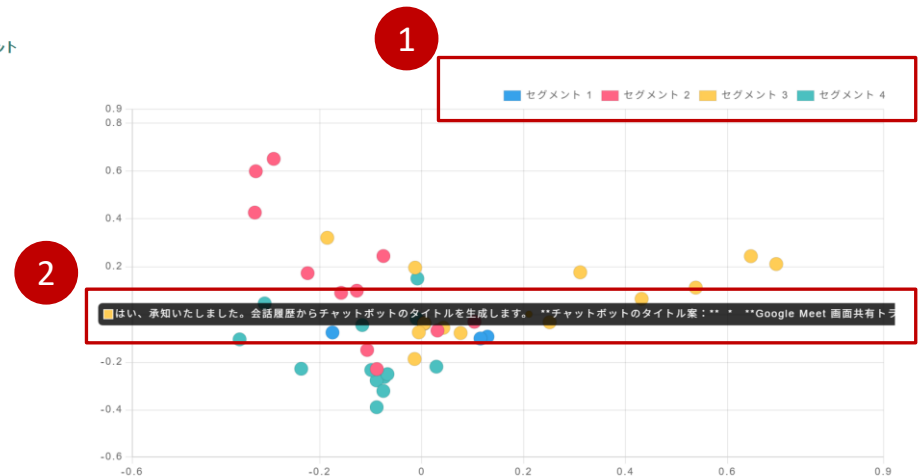
1. セグメントタイトルの追加

各セグメントがどのような内容か
一見するとわからない。
それぞれのセグメントに、AIによって
生成したタイトルをつける。

2. チャットタイトルの生成改良

稀に、AIが生成するタイトルの表示
が崩れるものがある。
システムプロンプトの改善が必要。

顧客セグメント



実証実験等の実施内容(実証2)

課題②-2 システムとしての利便性の向上

【原因】

運営者に対して、システムとして不親切な表現やUIとなっている。

3. 支援ヒント機能への導線改善

支援ヒント画面へのアクセス導線が不親切でわかりづらい。
テキストの追加、アイコンサイズの調整等、UIの改善対応を実施。

4. ヒント機能のテキスト調整

ヒント画面で表示されるボタンの意味や使い方がわかりづらい。
テキストの変更により改善。



The screenshots show a customer details page and a support hints page. The customer details page includes fields for customer name (Asian Bridge (テスト)), employee count (0), and establishment year. The support hints page displays text about AI business support and buttons for '解決' (Solve) and '即下' (Cancel). A red circle with the number 3 highlights a chat icon, and a red circle with the number 4 highlights a '解決' button.

実証実験等の実施内容(実証2)

課題③ SNS運用支援機能の実用化に向けた課題の発見

【原因】

SNS運用支援機能が十分に活用できておらず、課題が発見できていない。



実証2にて、Asian Bridgeも別環境を用意の上、アカウントを紐づけて実証を行う。
最低でも20件程度の投稿を定期的に生成し、改善すべき課題を洗い出す。

SNS運用支援

+ 新しい投稿を作成

投稿内容	インプレッション	Facebook投稿リンク	作成日時
# # 【企業紹介】アプリケーション開発・AI事業のAsian Bridge Asian Bridgeは、東京を拠点にITサービスを提供する企業です。2000年の創業以来、20年以上にわたり、お客様のビジネス課題解決に貢献する高品質なアプリケーション開発を得意としてまいりました。近年では、急速な技術革新に対応し、AI技術を活用したソリューション開発にも注力しております。お客様の事業成長を加速させるため、最適なテクノロジーと専門知識を提供いたします。弊社のサービスにご興味をお持ちの方、または協業をご検討の企業様は、お気軽にお問い合わせください。 # AsianBridge #ITサービス #アプリケーション開発 #AI事業 #東京のIT企業	表示回数(Total) : 0 / リーチ(Unique) : 0 オーガニック : 0 / 広告 : 0 / リンククリック : 0 コメント : 0 / シェア : 0	Facebookで見る	2025-10-10 11:19

1件中、1件目 ~ 1件目を表示

1

実証実験等の結果(実証2)

(1)【定性】生成AIが会話の情報から適切にサマリーを作成できているか計測

■ 支援ヒント

使用感：スタッフより「今のUIになってからとても使いやすくなっている」という反応あり。

評価：5段階評価で「レベル4：実用的」に評価が向上。「参考にならない」というものは大幅に減った。

改善の余地はあれど、情報の精度は確実に上がっていて実用性がある段階になった。

生成された支援ヒントの数： 1290件
役に立った： 287件
役に立たなかった： 168件 ※残り835件は未評価

実際の支援ヒントの例：

WWH96QのDX推進・業務システム構築・教育支援の深化・拡大のため、同様に企業や自治体向けにDX支援と組織改革・人材育成を
伴走型で提供する1RHRWCP（IT開発）との情報交換を検討しましょう。

事業拡大に向け、公益財団法人からの助成やクラウドファンディングなど、資金調達チャネルの多角化と安定化を検討する。特に、クラウドファン
ディングの戦略設計から実行まで一貫した支援を行う企業（例：1LSHI31）との連携も視野に入れると良いだろう。

→ システム内に登録されているサマリ情報などを活用し、コミュニティスペースに所属する他企業とのマッチングを提案

明確化した独自の価値提案や協業による新たな取り組みについて、SNS投稿支援機能を活用し、積極的に情報発信を行い、認知度とブラン
ドイメージの向上を図る。

→ 実証1で検証ができなかったSNS投稿支援機能の活用を促すようなヒントの提案

実証実験等の結果（実証2）

（2）【定量】相談いただいてから回答するまでのリードタイムの計測

エンスペース様のインターン生に実測いただき、約5分ほど縮んだことを確認。

個人のスキルや経験によって所要時間は変動するものの、経験の浅いスタッフの業務効率を底上げ・平準化できる効果が確認できた。

（3）【定性】提案内容の質の計測

- ・AIのチャットや支援ヒントで発生したアイデア・会話から、リアルでの会話につながった例が増えてきた。
（10件ほど。例：インターン生の採用をやりたい企業様）

例：

- ・[3QI09UB](#)：PC不調に関する解決策の会話
- ・[46BN0M4](#)：AIから出ていたペルソナについて一緒に議論

■課題

実証1であった「まだその段階ではないかな」という提案もまだいくつかはある。

（例：AIから開発を提案されたがまだ広報の段階など。実際に入居企業に提案しても「その方向も考えたことあったんだけどね～」の温度感）

実証実験等の結果(実証2)

(4)【定量】SNS発信完了までのリードタイムの計測

普段のやりとりを元に支援ヒントにてSNS投稿の提案があるが、それを投稿してよいものなのか、という話を入居企業様とする必要があり、投稿まで時間がかかる。提案している段階には至っているが、そこから返答が無かったりと、まだ投稿までは至っていない。そこで、当成果報告会のイベント告知の投稿文を生成。これを、「コミュニティスペース目線」「主催・参加企業目線」など自由に切り替えて、発信目線に応じてシステムに登録されている情報と紐づけて質の高いものを生成できた。

人による概要、キーワードの整理：約3分、 **生成AIによる投稿生成**：15秒、 **人によるニュアンスの調整・確認**：約3分

時間としては「ゼロから考えるよりは短い・楽である」という評価。

その他の当社主催の過去イベントについても20件程度生成してみたが、同程度の時間だった。

例：当社主催の異業種交流会

人による概要、キーワードの整理：約2分、 **生成AIによる投稿生成**：20秒、 **人による添削・確認時間**：約4分

■課題

意図したおりの結果を出力しやすくするために、予めどのような情報を与えるべきなのかをユーザーが意識する必要がある。投稿者の立場として、どのようなことを目的としているのか、どんな参加者に来てほしいのかなどの背景情報、どの事業に紐づくイベントなのか等を入力することで、当社が目指す経営理念や事業と絡めた投稿文を生成してくれた。

今後の方針・展開

コミュニティ支援のチャットボット・支援ヒントについて

- ・生成AIからの提案について「まだその段階ではないかな」というものの改善が可能。
 - ⇒CSVで会話データを注入しているが、Slackやチャットワークなどのコミュニティツールから定期的に取り得できるようにする。
 - ⇒ただし、エンスペース様との会話の中で判明したのが日常的な雑談やリアルな対話による生の声でしか得られない情報があるということだった。それをどのように吸収するかを模索したい。
- ・生の声をノータリ的にメモ・投稿する機能があると、コミュニティ管理ツールとしての利便性・生成内容の有用性も上がるのではないかな。
 - ⇒サマリに残すべき情報・整理する情報の取捨選択ロジックの開発、RAG技術の精度向上の段階になるのではないかな。

SNS投稿機能について

- ・「使い込むほど賢くなるシステム」としての発展性：
ユーザーの最終的な投稿履歴（過去の投稿）を「投稿者サマリ」として保存・生成時に参照させる仕組みを導入することで、より細かいニュアンスやトーンを表現できるようになるのではないかな。
ある程度使い込むと、ニュアンスの修正作業時間は限りなく少ない状態にできる想定。
- ・UI/UXの工夫によるさらなる品質の最大化：
ユーザーに対して「イベントとの関係性」や「投稿に至った裏話・経緯」を入力させるような導線（入力フォーム）をシステム上に設けることで、生成AIの出力品質（投稿目線や熱量）を最大限に引き出すことができる。
⇒プロンプトの精度は入力者によってしまうので、最低限のクオリティを出すために、システムとして入力欄を用意することで改善できる。

例：

- ・投稿対象SNS：「X（旧Twitter）」「Facebook」「Instagram」など
- ・トーン：「ビジネスライク（堅め）」「カジュアル（絵文字多め）」「熱血・アピール強め」など
- ・投稿役割の指定：「主催者として」「登壇者・出展者として」「会場提供者として」「一般参加者として」など
- ・背景・裏話：この告知内容に向けて苦労したことや、特にアピールしたい自社の取り組みなど
- ・その他細かい入力項目：「参加費」など想定される項目を入力欄として用意することで、ユーザーが意識せずにハルシネーションの可能性を低くできるのではないかな。

今後の方針・展開

当システムを他コミュニティスペース様にも展開してアンケートを実施。

また、行政・民間データを統合する「広域ビジネス創出AIプラットフォーム」としての展望も見据えている。

この展望では、本システムに、行政向け画面を用意し、行政の公募案件情報を登録できるようにすることを考えている。併せて、複数のコミュニティスペースに本システムを導入していただき、複数拠点間をつなぐような機能の拡張も検討している。

1. 入居企業の利点

本システムを導入したコミュニティスペースを利用するだけで、他コミュニティスペースを含めた協業などの提案が舞い込み、商談機会が増える。また、自社の強みを登録しておくことで、中小企業にとって探索コストの高い行政公募案件であっても、AIが適切に判断して通知してくれる。

2. コミュニティスペースの利点

本システムが入居企業にとって有力な商談機会を生み出すインフラとして機能することで、施設のブランド価値を高め、有力企業の誘致と定着を実現する。

3. 行政の利点

公募案件に対して、より適切な企業の応募が増え、成約率が向上する。また、企業の真のニーズや技術をリアルタイムに反映した分析ができ、施策のミスマッチや効果の遅れを改善できる。

